

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型の理念が作られているが、職員の入れ替えもあったため全職員が新理念の共有と実践に取り組めていない。	全職員が新理念を共有し実践できるようになる。	毎月開催する職員会議の冒頭で新理念を唱和、共有し、日々の介護で理念を実践していく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議は今年度3回開催(予定)しています。メンバーは、家族、民生委員、市職員、ホーム職員であり地域住民参加が少ないように思います。	運営推進会議の開催は年4回とし、そこで意見を反映しサービス向上につなげることができる。	年4回の会議の場では民生委員だけでなく、地元消防団や老人クラブの方にも出席していただき地域住民との協力関係作りをしていきたい。	12ヶ月
3	35	災害対策として火災通報装置やスプリンクラー等の設備はあるが、災害時利用者が避難するにあたって、地域との協力体制は築けていない。	地元消防団の協力を得て、自主防災訓練を実施することができる。	運営推進会議を通して地元消防団との交流を図り、災害時緊急連絡網を作成し、実際を想定した初動態勢から避難までの訓練を行う。	12ヶ月
4	26	本人の気持ちやご家族の要望を聞き、その都度毎日のカンファレンスにおいて職員間で話しアイデアを出し合いケアに活かしている。しかし、この取り組みがご家族には伝わっていない。	2ヶ月に1度ご家族宛に松風通信を送付することで、利用者の現状を理解して頂くことができる。	サービス担当者会議はかかりつけ医往診時に行い、家族の参加も促していく。この意見を計画見直しに反映させていく。(6カ月に1度)	1~12ヶ月
5	11	管理者は、職員会議の場で意見や提案を聞く機会を設けているが、毎日開かれるミニカンファレンスに参加していないので十分な意見の把握はできていない。	管理者は運営に関する職員の意見や提案を理解し、反映することができる。	管理者は週末のミニカンファレンスに参加し、介護等に関する職員の意見を積極的に汲み取るように努めていく。	1~12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。